

大阪市役所医師会報

発行 大阪市役所医師会 〒540-0008 大阪市中央区大手前2丁目1-7 大阪赤十字会館6階 (一財)大阪市環境保健協会内 TEL (06)4792-7070

No. 135 2017(平成29年)5月

大阪市役所医師会 会員みなさまへ。

大阪市役所医師会会長 田中正博

医師会のこと

この原稿の載る会報は4月の人事異動が確定してから発行予定です。今年から研修医になられた先生は国家試験に合格されて、医師として研修を開始されて約2か月が経ちました。充実した研修をされていますか。研修医以外の先生にとっても、3月と4月は別れと新しい出会いがあり、新たな気持ちで新年度を迎えられたのではないのでしょうか。

さて、毎年新年度号では、大阪市役所医師会について説明申しあげています(昨年度号を読まれた方は、ここはとばしてください)。



●今号の 主な内容

巻頭の辞	1頁
市民公開糖尿病ゼミナール開催報告	6頁
大阪市役所医師会主催産業医研修会開催報告	9頁
平成28年度(第62回)市医学会長賞等授与者	14頁
大阪市医学会例会年間予定	17頁
代議員会報告(平成28年10月~29年3月分)	18頁
お知らせ・編集後記	23頁

まず医師会のいいところは、自分の所属する診療科や医局・病院の枠を超えたつながりが広がります。女性医師の会の活動を見ていると、特にそう感じます。次に医師といえども、勤務医は組織に属しているので、勤務条件を無視することはできません。一人で改善要求することは大変ですが、みんなの共通の困ったことを医師会に相談していただくことで、解決できる可能性があります。

大阪市役所医師会の自己紹介を少しばかりさせていただきます。大阪市役所医師会は大阪市や地方独立行政法人大阪市民病院機構（大阪市立大学は除く）に勤務する医師やOBのための医師会です。日本医師会、大阪府医師会の下部組織の郡市区等医師会の一つとなります。500名以上の会員数がある郡市区等医師会の中では大きな医師会です。

活動内容

大阪市役所医師会主催の学術集会と特別講演会を毎年8月（今年は8月26日土曜午後）に開催しています。

女性医師の会とともに男女共同参画委員会活動をしています。

多くの講演会や市民公開講座などを後援しています。

大阪市役所医師会や女性医師の会の会報やホームページを作成しています。

研修医・レジデント委員会を組織し、次世代をになう若手医師の英語論文作成、研究、学会出張などを支援しています。

大阪市に勤務している医師は大阪市医学会の会員でもあります。大阪市医学会雑誌（欧文・和文）の出版や大阪市医学会会長賞などを支援しています。投稿には大阪市医学会会員資格が必要ですが、会費を大阪市役所医師会が負担しています。

厚生労働省や大阪府などから出される通達などの周知をしています。

大阪府医師会、大阪府下5大学医学部医師会、府庁医師会との定期交流会をしています。

大阪市役所医師会では日本医師会医師賠償責任保険の加入手続きをしています。

研修医には日本医師会・大阪府医師会とも会費の研修医割引があり、優遇されています。上記活動のため、毎月代議員会を開催しています。以上の活動をしています。



第 62 回大阪市医学会会長賞授与式

超過勤務のこと

一昨年に電通に勤務する若手社員が過労によって心身の体調を崩し、自死した痛ましい事件が起こり、広く話題になりました。昨年には新潟市民病院で後期研修医として働いていた医師が自死しました。ご家族が長時間労働による過労死と認定するように新潟労働基準監督署に労災申請しました。

これらの事件を受けて政府は、「働き方改革」の一環として、長時間労働の是正に動き出しましたが、医療職は改革の外のようなのです。

心身の健康を損なうような働き方は、自分にも患者さんにも病院にも、何もいいことはありません。これからは仕事の「時間」ではなくて、「スピード」と「能率」が大切になると考えています。しかし、次のことに注意してください。

まず仕事の内容が「長時間の労働」から「スピード」と「能率」に変化することは、仕事が楽になることではありません。特に仕事をゆっくりと着実にするタイプの人にとっては、これまで以上に心理的プレッシャーがかかる可能性があります。また医師としてのスキルを確立するためには、教科書や論文などから知識を吸収することは大切ですが、症例を多く積み重ねることが必要不可欠です。スポーツでも、習い事でも一緒だと思いますが、「量を伴わない質の向上はあり得ません」。

もちろん、心身の健康を害さない範囲という条件がつきますが、できるだけ忙しく短時間に集中して働くことで「仕事ができる優秀な医師」になってください。そうして余裕ができた時間には、仕事を離れて自分の時間を大切にしてください。頑張った自分を褒めて、自分にご褒美をあげてください。



今年の桜ノ宮公園の桜と環状線新型車両

医師の世界ではありませんが、新年度の仕事始めとなった4月3日(月)に主要企業が一斉に入社式を開きました。今年の新入社員(大卒、高卒、専修学校卒などを含む)は推計89万人。米国のトランプ政権誕生などにより、世界経済を取り巻く環境は不透明感が増しています。各社の経営トップは新入社員に対し、主体性を持って仕事に取り組むようにエールを送りました。

三菱重工業の宮永俊一社長は約280人の新入社員を前に「失敗を恐れず、新しいことに挑戦してほしい」と述べました。5度目の納期延期に至った国産初のジェット旅客機「MRJ」を引き合いに出し、「完成機事業は長年の夢。粘り強く育てていきたい」と言葉に力を込めました。

ワークライフバランスを重視する新入社員が増えており、長時間労働の是正など働き方改革への関心は高くなっています。電通の山本敏博社長は新入社員が過労自殺した問題をうけ、「多大な心配をかけ、心苦しく思う」と謝罪。自身の新人時代について触れつつ「落ち込むこともあるが、一人で抱え込まずに仲間を積極的に頼ってほしい」と訴えました。

業種・業態は異なりますが、参考になる言葉と思います。それではみなさま、「失敗を恐れず、新しいことに挑戦し、落ち込むことがあっても、一人で抱え込まずに仲間を、医師会を積極的に頼りましょう。」

参考資料

働き方改革実現会議

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/hatarakikata/>

山崎 元：新入社員へ贈る、極めて正直な入社式スピーチ原稿

<http://diamond.jp/articles/print/121996>

新潟・女性医師過労死事案、担当弁護士の説明

<https://www.m3.com/news/iryoishin/455266>

日本経済新聞 「一人で抱え込まずに」 電通など入社式

http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ03HJZ_T00C17A4000000/

市民公開糖尿病ゼミナール

「ためしたカッテン2016」

平成28年11月2日

大阪市立総合医療センター糖尿病内分泌センター糖尿病内科 細井 雅之

11月14日は国際連合総会2006年12月に定められた「世界糖尿病デー World Diabetes Day」であり、全世界で、糖尿病撲滅のための啓蒙活動が行われます。日本糖尿病協会もこの日を中心として、「糖尿病週間」として、全国で、街頭キャンペーン、血糖測定活動、患者会活動などを毎年、繰り広げています。

当院でも、2011年から、市民公開糖尿病教室として、NHK「ためしてガッテン」をもじって「ためしたカッテン」を11月14日前後に行ってきました。例年は、体験型糖尿病教室として実践を中心に行ってきましたが、本年は、より多くの市民にも参加いただけるように、講演形式を中心にしました。メインテーマを「週刊誌に負けない糖尿病最先端治療」として、①「糖尿病治療のウソホント」医師、②「ホントに危ない？糖尿病の薬」薬剤師、③「食べていいのか？炭水化物」管理栄養士、④「看護師は見た！糖尿病の真実」看護師、という内容で、講演をしていただきました。その他に、体験コーナーとして、①血管年齢測定、臨床検査技師、②SATシステムによるバーチャルバイキング、管理栄養士、③セラバンドをつかった糖尿病レジスタンス運動、理学療法士 を実践していただきました。当日は、

スタッフとして糖尿病内科医師、糖尿病看護認定看護師、日本糖尿病療養指導士（看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士）大阪糖尿病療養指導士（看護師、管理栄養士）、そして地域連携室スタッフに、協力していただいています。320名の市民の参加がありました。大阪市役所医師会からは助成金をいただき、①血管指先脈波機器レンタル料 ②「セラミックチューブ」を購入し、当日、配布して、③ロコモ運動DVD購入し、運動療法実践指導に利用させていただきました。

ご助成いただきました大阪市役所医師会に対して、改めて厚く御礼申し上げます。



市民公開糖尿病ゼミナール ためしたカッテン 2016

週刊誌に負けない！ 糖尿病の最先端治療

開催日 平成28年11月2日（水）

12:30～15:30

場所 大阪市立総合医療センター さくらホーム

糖尿病治療のウソ、ホント

糖尿病内科部長 藤井雅之 糖尿病専門医 武内真有

ホントに危ない？糖尿病の薬

薬剤師 山崎美由紀

食べていいのか、炭水化物

管理栄養士 宮下智子

看護師は見た！糖尿病の真実

糖尿病看護部 看護師 倉岡賢治 植野真美

これなら安心！在宅支援のうまい活用法

都島区北部包括支援センター 看護師 戸谷美香
都島オレンジチーム 看護師 眞鍋さよ子

レジスタンス講師
理学療法士
関野幸史

血管年齢
臨床検査技師
横田裕香
(人数制限有)

バーチャル
バイキング

都島区北部
地域包括支
援センター

TEL 06-6929-1221(代表) / FAX 06-6929-0886

共催 大阪市医師会・DMnet One・都島区北部地域包括支援センター・都島オレンジチーム

DMnet One
DM network in Osaka North East

当日、配布したテキスト（全104ページ）



スタッフ集合写真

【宝塚推子書庫】とまご部社書庫共同



理学療法士による「チューブ体操実践」



臨床検査技師による「血管年齢測定」

平成28年度 産業医研修会 開催報告

「職場におけるアルコール問題と ブリーフインターベンション」

～AUDIT*を用いた節酒指導の進め方～

講師：独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター所長 ゆずりは 杠 たけ 岳 ふみ 文先生

平成26年6月より「アルコール健康障害対策基本法」が施行され、平成28年には「アルコール健康障害対策推進基本計画」も策定されましたが、大阪市職員の健康管理における課題として、アルコール問題による病気休職や現職死亡が依然として少なくないことから、主に大阪市の嘱託産業医の先生方を対象に、平成28年10月22日（土）大阪市立大学医学部学舎において上記研修会を開催いたしました。

現在わが国のアルコール依存症患者は109万人と推定されていますが、専門的治療を受けている人はわずか4万人にとどまり、85%は内科等を受診し治療を受けているそうです。更に、依存症の手前の有害な使用及び危険な使用者（つまり飲み過ぎによる何らかの健康問題がある人）を含めると1039万人もいること、また、断酒させなくても、たとえわずかな節酒であっても、死亡率を格段に減少させられることから、医療者として早期に介入することがいかに重要なことか再認識させられました。杠先生からはそのための

ツールとして、AUDIT*（オーディット）と飲酒日記を用いた節酒指導をご紹介いただき、ロールプレイも含めて明日からでも使える指導のノウハウを教えてくださいました。AUDITはWHOが開発したアルコール問題のスクリーニングテストのひとつで、依存症だけでなく、危険または有害な飲み方をしている人を判定できるのが特徴です。依存症のスクリーニングよりも受検者の抵抗感が少なく、指導する側も使いやすいと実感しています。先生方にも日常臨床の場でご活用いただければと思い、大阪市職員向けに使っているAUDITと結果票や参考資料を添付いたします。先生方ご自身も一度体験していただければ幸いです。

最後に、ご助成いただきました大阪市役所医師会に対し、改めて厚く御礼申し上げます。

（文責：大阪市人事室 人事課厚生グループ
出雲谷 恭子）

*AUDIT：Alcohol Use Disorders Identification Test

アルコール使用障がい同定テスト

飲酒習慣に関する質問票(AUDIT)

記入年月日(平成 年 月 日)

所 属		職 種	
氏 名		年 齢	歳

質問票を記入される方へ

アルコールの使用はあなたの健康へ影響を及ぼします。アルコール使用に関する以下の質問に答えて頂くことは非常に重要です。回答は秘密保持されますので、ぜひ正直に答えてください。各質問に対して一番あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

《参考》1ドリンクは純アルコール量で10グラム

【2ドリンク】=缶ビール500ml=日本酒1合=ウイスキーダブル60ml

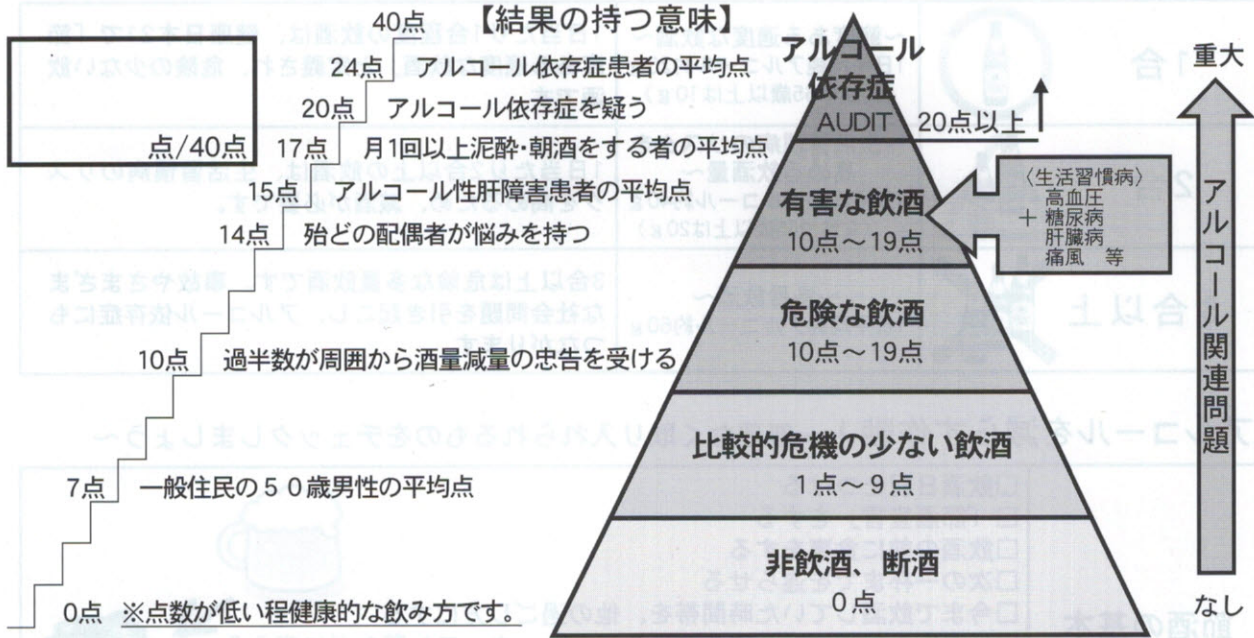
【1.5ドリンク】=ワイン1杯120ml

【1ドリンク】=焼酎(アルコール度数25%)50ml=缶チューハイ(アルコール度数3%)350ml

No.	質 問	回 答 欄				
		0	1	2	3	4
1	あなたはアルコール含有飲料をどのくらいの頻度で飲みますか。	飲まない	1か月に1回以下	1か月に2~4回	1週に2~3回	1週に4回以上
2	飲酒するときには通常、どのくらいの量を飲みますか。 ※ドリンク換算は《参考》をご覧ください。	1~2ドリンク	3~4ドリンク	5~6ドリンク	7~9ドリンク	10ドリンク以上
3	一度に6ドリンク以上飲酒することはどのくらいの頻度でありますか。 ※ドリンク換算は《参考》をご覧ください。	ない	1か月に1回未満	1か月に1回	1週に1回	毎日あるいはほとんど毎日
4	過去1年間に、飲み始めると止められなかったことがどのくらいの頻度でありましたか。	ない	1か月に1回未満	1か月に1回	1週に1回	毎日あるいはほとんど毎日
5	過去1年間に、普通だと思えることを飲酒をしていたためにできなかったことがどのくらいの頻度でありましたか。	ない	1か月に1回未満	1か月に1回	1週に1回	毎日あるいはほとんど毎日
6	過去1年間に、深酒の後、体調を整えるために朝迎え酒をせねばならなかったことがどのくらいの頻度でありましたか。	ない	1か月に1回未満	1か月に1回	1週に1回	毎日あるいはほとんど毎日
7	過去1年間に、飲酒后、罪悪感や自責の念にかられたことがどのくらいの頻度でありましたか。	ない	1か月に1回未満	1か月に1回	1週に1回	毎日あるいはほとんど毎日
8	過去1年間に、飲酒のため前夜の出来事を思い出せなかったことが、どのくらいの頻度でありましたか。	ない	1か月に1回未満	1か月に1回	1週に1回	毎日あるいはほとんど毎日
9	あなたの飲酒のために、あなた自身か他の誰かがけがをしたことがありますか。	ない	—	あるが、過去1年にはなし	—	過去1年間にあり
10	肉親や親戚・友人・医師あるいは他の健康管理にたずさわる人が、あなたの飲酒について心配したり、飲酒量を減らすように勧めたりしたことがありますか。	ない	—	あるが、過去1年にはなし	—	過去1年間にあり
小 計						

合計 () 点

あなたの飲酒習慣に関する結果は・・・ [平成 年 月 日実施]



【AUDIT点数が示す飲酒の影響と望ましい対処】

20点以上の方は…

- ・ 現在のお酒の飲み方ですと、**アルコール依存症が疑われます。**
- ・ 飲酒のために、あなたの**健康だけでなく、家庭や職場での生活に悪影響が及んでいる**ことが考えられます。
- ・ 今後のお酒の飲み方については、一度、アルコール依存症治療専門医療機関にご相談ください。診断内容によっては、**断酒が必要**となります。

10～19点の方で、**現在高血圧症や糖尿病、脂質異常症、肝臓病、痛風等、生活習慣病をお持ちの方は…**

- ・ 現在のお酒の飲み方を続けると、お酒が**現在治療中の病気の回復の妨げになるばかりか、病状を悪化させる恐れ**があります。
- ・ まずはこれから **2週間お酒を飲むのをやめて、お酒が身体に与えた影響を確かめ**ましょう。




10～19点の方は…

- ・ 現在のお酒の飲み方を続けると、今後お酒のためにあなたの**健康や社会生活に影響**が出る恐れがあります。
- ・ これまでのお酒の飲み方を修正された方が良いでしょう。
- ・ 1日2ドリンク（缶ビール500ml1本か日本酒1合）までの飲酒にとどめましょう。




10点未満の方は・・・

- ・ 今のところあなたのお酒の飲み方にあまり大きな問題はないようです。
- ・ 健康的なお酒との付き合いを心がけてください。
- ・ 1日2ドリンク（缶ビール500ml1本か日本酒1合）までの飲酒にとどめましょう。

アルコールの適量はどれくらい？


<p>1合</p> 	<p>～節度ある適度な飲酒～ 1日平均純アルコール約20g (女性や65歳以上は10g)</p>	<p>1日当たり1合程度の飲酒は、健康日本21で「節度ある適度な飲酒」と定義され、危険の少ない飲酒です。</p>
<p>2合</p> 	<p>～生活習慣病のリスクを高める飲酒量～ 1日平均純アルコール約40g (女性や65歳以上は20g)</p>	<p>1日当たり2合以上の飲酒は、生活習慣病のリスクを高めるため、減酒が必要です。</p>
<p>3合以上</p> 	<p>～多量飲酒～ 1日平均純アルコール約60g</p>	<p>3合以上は危険な多量飲酒です。事故やさまざまな社会問題を引き起こし、アルコール依存症にもつながります。</p>

アルコールを減らす作戦！～無理なく取り入れられるものをチェックしましょう～

<p>節酒の基本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 飲酒日記をつける <input type="checkbox"/> 「節酒宣言」をする <input type="checkbox"/> 飲酒の前に食事をする <input type="checkbox"/> 次の一杯までを遅らせる <input type="checkbox"/> 今まで飲酒していた時間帯を、他の過ごし方にする <input type="checkbox"/> 低濃度のお酒、ノンアルコールビール、ウーロン茶などに変える <input type="checkbox"/> 定期的に受診、検査をする <input type="checkbox"/> 休肝日を増やす <input type="checkbox"/> ゆっくり飲むようにする <input type="checkbox"/> 昼から飲まない 
<p>自宅の節酒法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自宅に酒類を「買い置き」しない <input type="checkbox"/> 飲酒以外の活動で時間を過ごす <input type="checkbox"/> 買い物は、お酒を売っている店を避ける <input type="checkbox"/> 家族の協力を得る 
<p>外出時の節酒法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 飲む（飲みすぎてしまう）場所を避ける <input type="checkbox"/> 飲まない友達と外出する <input type="checkbox"/> 酒席は断るか、早く引き上げる <input type="checkbox"/> 返杯、献杯をしない <input type="checkbox"/> 酒席での挨拶回りは、ウーロン茶でまわる <input type="checkbox"/> 飲んでいる間は、会話、カラオケ、ダーツなど、他の楽しみ方をする <input type="checkbox"/> 勧められても「ノー」と言える練習をしておく <input type="checkbox"/> 必要以上のお金を持ち歩かない <input type="checkbox"/> 飲んだ量を計算する 





アルコールを減らして変わることは？

あなたがアルコールを減らして変わることを想像してみてください。アルコールを減らすと、下記の項目のように変わることが研究でわかってきました。あなたが手に入れたいものにチェックを入れてみましょう。

<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 5年から10年長生きできる <input type="checkbox"/> よく眠れる <input type="checkbox"/> 気分がよくなり、憂うつな気分になったり、死にたくなったりすることが1/6に減る <input type="checkbox"/> 体が楽になり、体力がつく <input type="checkbox"/> 朝気持ちよく起きられる <input type="checkbox"/> 能率が上がり、仕事が充実する <input type="checkbox"/> 家庭や職場などで人間関係がよくなる <input type="checkbox"/> 脳にダメージを与えることなく、健やかな老後を迎えることができる 
--

《参考》関西アルコール関連問題学会

アルコール飲料ドリンク換算表(改定版)

種 類			日本酒換算	ドリンク
日本酒	1合	180ml	1	2.2ドリンク
《1ドリンク = アルコール量約10g》				
アルコール濃度15%				
	大ビン	容器の大きさ 633ml	1.2	2.5ドリンク
	中ビン	500ml	1.2	2.0ドリンク
	缶・発泡酒大	500ml	1.2	2.0ドリンク
	缶・発泡酒中	350ml	1.2	1.4ドリンク
	中ジョッキ	400ml	1.2	1.6ドリンク
アルコール濃度5%				
	25度 1合	180ml	1.7	3.6ドリンク
	焼酎:お湯	コップの大きさ		
	お湯割り(3:7)	180ml	0.5	1.1ドリンク
	お湯割り(5:5)	180ml	0.8	1.8ドリンク
	お湯割り(6:4)	180ml	1	2.2ドリンク
缶酎ハイ(8%)	250ml	0.7	1.6ドリンク	
アルコール濃度25%				
	ロック(ストレート)	ウイスキーの量 80ml	1.3	2.8ドリンク
	ダブル	60ml	1	2.1ドリンク
	シングル	30ml	0.5	1.0ドリンク
アルコール濃度43%				
	グラス(白・赤)	ワインの量 60ml	0.3	0.6ドリンク
	グラス(白・赤)	120ml	0.5	1.2ドリンク
アルコール濃度12%				
梅酒	シングル1杯	30ml		0.3ドリンク

平成 28 年度 (第 62 回)

大阪市医学会 会長賞、大阪市医学会 学会賞 受 賞 者

平成 28 年度の大阪市医学会会長賞論文が 2 編、医学会賞が 7 編選考されました。

【大阪市医学会 会長賞】

氏名・所属

中澤世識 (群馬大学 生体調節研究所 分子細胞制御分野)
及川大輔 (大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病態学)
石井亮平 (東京大学 大学院理学研究科 生物科学)
綾木 孝 (和歌山県立医科大学 医学部 神経内科学)
高橋宏隆・竹田浩之 (愛媛大学 プロテオサイエンスセンター)
石谷隆一郎 (東京大学 大学院理学研究科 生物科学)
亀井希代子 (群馬大学 生体調節研究所 分子細胞制御分野)
竹吉 泉 (群馬大学 大学院医学系研究科 臓器病態外科学)
川上秀史 (広島大学 原爆放射線医科学研究所 分子疫学研究分野)
岩井一宏 (京都大学 大学院医学研究科 細胞機能制御学)
畑田出穂 (群馬大学 生体調節研究所 ゲノム科学リソース分野)
澤崎達也 (愛媛大学 プロテオサイエンスセンター)
伊東秀文 (和歌山県立医科大学 医学部 神経内科学)
濡木 理 (東京大学 大学院理学研究科 生物科学)
徳永文稔 (大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病態学)

論文題目

Linear Ubiquitination is Involved in the Pathogenesis of Optineurin-associated Amyotrophic Lateral Sclerosis

(Optineurin 遺伝子変異に伴う ALS 発症における直鎖状ポリユビキチン鎖の寄与)

掲載誌および発刊年

Nature Communications 2016 ; 7 : 12547

氏名・所属

浅野有香・柏木伸一郎・小野田尚佳・
倉田研人・森崎珠実・野田 諭・
高島 勉 (大阪市立大学 大学院医学研究科 腫瘍外科学)
大澤政彦 (大阪市立大学 大学院医学研究科 診断病理・病理病態学)
北川誠一 (大阪市立大学 大学院医学研究科 細胞情報学)
平川弘聖 (大阪市立大学 大学院医学研究科 腫瘍外科学)

論文題目

Clinical Verification of Sensitivity to Pre-operative Chemotherapy in Cases of Androgen Receptor-expressing Positive Breast Cancer

(アンドロゲン受容体発現陽性トリプルネガティブ乳癌における術前化学療法感受性の臨床的検証)

掲載誌および発刊年

British Journal of Cancer 2016 ; 114 : 14-20

【大阪市医学会 学会賞】

氏名・所属

馴松麻悠・上村竜也・山岸敏之 (大阪市立大学 大学院医学研究科 器官構築形態学)
福井 充 (大阪市立大学 大学院医学研究科 生物統計学)
中島裕司 (大阪市立大学 大学院医学研究科 器官構築形態学)

論文題目

Impaired Development of Left Anterior Heart Field by Ectopic Retinoic Acid Causes Transposition of the Great Arteries

(左前方咽頭弓に存在する心臓領域の発生異常によって完全大血管転位 (TGA) が起こる)

掲載誌および発刊年

Journal of the American Heart Association 2015 ;4 :e001889

氏名・所属

高橋克之 (大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病態薬理学)
田中昌子 (大阪市立大学 大学院医学研究科 薬効安全性学)
八代正和 (大阪市立大学 大学院医学研究科 癌分子病態制御学)
松本雅記 (九州大学 生体防御医学研究所 分子医科学分野)
大塚明日香 (大阪市立大学 大学院医学研究科 薬効安全性学)
中山敬一 (九州大学 生体防御医学研究所 分子医科学分野)
泉 康雄 (大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病態薬理学)
永山勝也 (大阪市立大学 医学部附属病院 薬剤部)
三浦克之 (大阪市立大学 大学院医学研究科 薬効安全性学)
岩尾 洋・塩田正之 (大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病態薬理学)

論文題目

Protection of Stromal Cell-derived Factor 2 by Heat Shock Protein 72 Prevents Oxaliplatin-induced Cell Death in Oxaliplatin-resistant Human Gastric Cancer Cells

(Heat shock protein 72 による Stromal cell-derived factor 2 の保護はオキサリプラチン耐性ヒト胃癌細胞においてオキサリプラチン誘導性の細胞死を抑制する)

掲載誌および発刊年

Cancer Letters 2016 ;378 :8-15

氏名・所属

高橋真治・星野雅俊 (大阪市立大学 大学院医学研究科 整形外科学)
高山和士 (清恵会病院 整形外科)
井関一道 (サトウ病院 整形外科)
笹岡隆一 (淀川キリスト教病院 整形外科)
辻尾唯雄 (白庭病院 整形外科)
安田宏之 (大阪鉄道病院 整形外科)
佐々木健陽 (西宮渡辺病院 整形外科)
兼松文昭 (済生会中津病院 整形外科)
河野 浩 (石切生喜病院 整形外科)
豊田宏光 (大阪市立大学 大学院医学研究科 総合医学教育学)
中村博亮 (大阪市立大学 大学院医学研究科 整形外科学)

論文題目

Predicting Delayed Union in Osteoporotic Vertebral Fractures with Consecutive Magnetic Resonance Imaging in the Acute Phase

(急性期における経時的MRIを用いた骨粗鬆症性椎体骨折後遷延治癒の予測)

掲載誌および発刊年

Osteoporosis International 2016 ;27 :3567-3575

【大阪市医学会 学会賞】

氏名・所属

東森 啓・渡辺俊雄・灘谷祐二・
武田翔伍・大谷恒史・谷川徹也・
山上博一・斯波将次・富永和作・
藤原 靖弘・荒川 哲男
(大阪市立大学 大学院医学研究科 消化器内科学)

論文題目

Mechanisms of NLRP3 Inflammasome Activation and its Role in NSAID-induced Enteropathy
(非ステロイド系抗炎症薬起因性小腸傷害におけるNLRP3インフラマソーム活性化機構とその役割)

掲載誌および発刊年

Mucosal Immunology 2016 ;9 :659-668

氏名・所属

則岡直樹 (大阪市立大学 大学院医学研究科 循環器内科学)
竹本恭彦・小林正宜・幕内安弥子・
吉川淳一 (大阪市立大学 大学院医学研究科 総合医学教育学)
山崎陽一 (科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部)
神山斉己 (愛知県立大学 情報科学部)
首藤太一 (大阪市立大学 大学院医学研究科 総合医学教育学)
葭山 稔 (大阪市立大学 大学院医学研究科 循環器内科学)

論文題目

Low-flow Mediated Constriction Incorporated Indices as Indicators of Cardiovascular Risk in Smokers
(血流低下による血管収縮反応を考慮した血管内皮機能は喫煙者における心血管リスクの予測に有用である)

掲載誌および発刊年

Atherosclerosis 2016 ;251 :132-138

氏名・所属

出口裕彦・岩崎進一・小西章仁・
石本英之・小川弘一郎・福田友一・
新田朋子・井上幸紀
(大阪市立大学 大学院医学研究科 神経精神医学)

論文題目

The Usefulness of Assessing and Identifying Workers' Temperaments and Their Effects on Occupational Stress in the Workplace
(就労者の気質とその職業性ストレスへの影響を職場において評価、認識することの有効性について)

掲載誌および発刊年

PLoS One 2016 ;11 :e0156339

氏名・所属

衣畑成紀・林 朝茂・佐藤恭子・
上原新一郎 (大阪市立大学 大学院医学研究科 産業医学)
大上圭子 (西日本電信電話株式会社 関西健康管理センタ)
圓藤吟史 (大阪市立大学 大学院医学研究科 産業医学)
神戸 泰・福田莞爾 (西日本電信電話株式会社 関西健康管理センタ)

論文題目

Sleep Duration and the Risk of Future Lipid Profile Abnormalities in Middle-aged Men: The Kansai Healthcare Study
(中年男性における睡眠時間と脂質異常症の発症リスク：関西ヘルスケアスタディ)

掲載誌および発刊年

Sleep Medicine 2014 ;15 :1379-1385

大阪市医学会例会年間予定（普通演題のみ）

平成29年度

月	例会予定 年6回 第3木曜				編集委員会
	開催日	場 所	普通演題 申込み締切日	当番教室 (変更あり)	(年4回) 4・6・11/第2火曜 11/第4火曜
4月	*	*	*	*	4月18日(火) 16:30~
5月	第499回 5月18日	4F大講義室	4月6日(木)	神経精神医学	*
6月	*	*	*	*	6月13日(火) 16:30~
7月	第500回 7月20日	4F大講義室	6月6日(火)	皮膚病態学 形成外科学	*
8月	*	*	*	*	*
9月	*	*	*	*	*
10月	第501回 10月19日	4F大講義室	9月6日(水)	放射線診断学・IVR学 放射線腫瘍学	*
11月	第502回 11月16日	4F大講義室	10月5日(木)	腫瘍外科学 癌分子病態制御学	11月28日(火) 16:30~
<p>市医学会の受付は「普通演題のみ」となりますのでご注意ください。 (平成22年度より、例会において学位論文の発表をする方は、学位審査を同時にすることになりました)</p>					
12月	第503回 12月21日	4F大講義室	11月7日(火)	心臓血管外科学 消化器外科学 肝胆膵外科学	*
1月	第504回 1月18日	4F大講義室	12月6日(水)	脳神経外科学	1月16日(火) 16:30~
2月	第505回 2月8日	4F大講義室	1月9日(火)	整形外科学	*
3月	第63回会長賞 3月20日(予定)	(会長賞) 4F大講義室	*	*	*

○上記日程は開催予定ですので、当番教室等変更される場合があります。

なお、内容の要旨・抄録の提出日については市医学会までお問い合わせ下さい。

○大阪市医学会事務局（月曜～金曜）の受付時間はAM. 9:30～PM. 5:00です。

問い合わせ先 医学部学舎12F 担当：百々（ドド）

FAX & TEL: 06-6645-3782

Email: shiigakukai@med.osaka-cu.ac.jp

大阪市役所医師会 平成28年10月代議員会議事録

と き：平成28年10月25日（火） 午後6時30分～7時

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 根引浩子 中西亜紀 依藤 亨
西口幸雄 日浦義和 細井雅之 出雲谷恭子 村田佳津子
栗原敏修 山口利昌 鈴木真司 金本巨哲（14名）

木幡利至朗、 山下直子（事務局）

委任状提出：古塚大介 撫井賀代 田中政宏 平林 円 森本武志
舟本仁一 河田 弘 林下浩士 高野保名 志村雅彦
吉野祥一 愛場庸雅 森 秀夫（13名）

1. 委員会報告

- ・会長報告 5大学＋2行政医師会役員懇談会について
- ・各委員会報告
 - 総務委員会
 - 男女共同参画委員会
 - 広報委員会 会報134号発行
ホームページの更新状況について

2. 議題

- ・5大学＋2行政医師会役員懇談会について
- ・医局移転に関わる女性医師の更衣室移転について
- ・十三市民病院第8回糖尿病フェスタの後援について
- ・その他

大阪市役所医師会 平成28年11月代議員会議事録

と き：平成28年11月22日（火） 午後6時30分～6時50分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 志村雅彦 中西亜紀 依藤亨 田中香瀬
西口幸雄 原純一 細井雅之 出雲谷恭子 村田佳津子
栗原敏修 山口利昌 田中政宏 川崎靖子 撫井賀代
山田明子 金本元勝 高野保名（18名）
木幡利至朗、 山下直子（事務局）
委任状提出：稲田 浩 中田真一 平林 円 森本武志 舟本仁一
愛場庸雅 金本巨哲 鈴木真司 吉野祥一（9名）

1. 委員会報告

・会長報告

・各委員会報告

総務委員会

男女共同参画委員会

広報委員会 ホームページの会員名簿更新について

2. 議題

・5大学+2行政医師会役員懇談会について

・レジデント、女性医師問題（処遇や環境整備）の調査について

・フレックスタイムについて

・女性医師の会講演会について

3月25日午前11時～ 講演会（さくらホール）実施予定

・12月の代議員会について

大阪市役所医師会 平成29年1月代議員会議事録

と き：平成29年1月25日（水） 午後6時30分～

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 根引浩子 依藤 亨 出雲谷恭子
撫井賀代 西口幸雄 原 純一 村田佳津子 高野保名
山口利昌 金本元勝 金本巨哲 田中政宏 鈴木真司
有元秀樹（16名）
木幡利至朗、 山下直子（事務局）
委任状提出：中西亜紀 稲田 浩 平林 円 森本武志 愛場庸雅
中田真一 栗原敏修 山田明子（8名）

1. 委員会報告

・会長報告 専門医制度について

- ① 専門医制度の根幹として各基本領域の専門医制度を各専門領域学会が運営する
- ② 医師の都市部への偏在助長の回避に努める
- ③ 研修方法は、研修プログラム制と研修カリキュラム制で実施。基本領域学会
専門医の研修は原則プログラム制とする。
- ④ 専門医の研修は基幹病院とする。連携する研修施設での研修はその施設で給
与を支払う。
- ⑤ 指導医1人に対して専攻医3人までを原則
- ⑥ 機構が研修プログラムを承認する時は、行政、医師会など各都道府県協議会
で話し合う。

・各委員会報告

総務委員会

男女共同参画委員会

広報委員会 ホームページの字句修正について

2. 議題

- ・レジデントの処遇、環境整備について
医師会として要望書を作成して機構に提出する。
- ・女性医師の処遇、環境整備について
勤務条件等委員会で周知文等を作成し、周知する。
- ・在阪5大学ならびに2行政医師会との懇談会報告
- ・女性医師の会主催講演会 3月25日11時よりさくらホールで開催
- ・認知症対応力向上研修の後援依頼について
- ・その他

大阪市役所医師会 平成29年2月代議員会議事録

と き：平成29年2月28日（火）午後6時30分～7時10分

と ころ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 志村雅彦 依藤 亨 撫井賀代
西口幸雄 出雲谷恭子 細井雅之 村田佳津子 川崎靖子
高野保名 山口利昌 金本元勝 金本巨哲 田中政宏
栗原敏修 鈴木真司 原 純一（18名）
木幡利至朗、 山下直子（事務局）
委任状提出：森本武志 愛場庸雅 中田真一 英久仁子 平林 正円
吉野祥一 森 秀夫 河田 弘 中西亜紀（9名）

1. 委員会報告

・会長報告

住吉市民病院の廃止問題について
道路改正法における認知症患者の診断について

・各委員会報告

広報委員会 ホームページ更新について

2. 議題

・市医学会について

3月21日大阪市医学会会長賞授与式

・研修医ウェルカムパーティー開催について

・平成29年度代議員会の開催予定について

・その他

病院勤務医師の家族の受診について

3月25日11時 女性医師の会講演会について

3月4日2時 女性医師ネットワーク講演会について

次年度予算について

大阪市役所医師会 平成29年3月代議員会議事録

と き：平成29年3月22日（火） 午後6時30分～午後7時00分

と ころ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 志村雅彦 根引浩子 依藤玉亨
稲田 浩 西口幸雄 細井雅之 出雲谷恭子 清水貞利
山口利昌 金本元勝 金本巨哲 村田佳津子 鈴木真司
山田明子 田中政宏（17名） 神吉理枝（オブザーバー）
木幡利至朗、 山下直子（事務局）
委任状提出：森本武志 愛場庸雅 中田真一 古塚大介 英久仁子
平林 円 森 秀夫 中西亜紀 河田 弘（9名）

1. 委員会報告

・会長報告

専門医制度について

平成29年度の代議員会日程について

新代議員の就任について

・各委員会報告

総務委員会

男女共同参画委員会 3月25日講演について

広報委員会 次会報発行予定について

学術委員会 8月26日（土）学術集会について

2. 議題

・平成29年度予算について



お知らせのページ



会員名簿について

会員名簿については、大阪市役所医師会ホームページ <http://www.ocma.jp/> の会員専用ページに掲載しております。会員専用ページ閲覧に必要なIDとパスワードは平成29年6月1日に更新予定ですので、5月中に事務局より先生方に通知させていただきます。

会員情報を各自ご確認いただき、修正必要箇所がありましたら、恐れ入りますが事務局までメールにてお知らせください。年度途中で退職予定の方は、退会届を事務局にご提出ください。その他、会員の転入・転出・異動があればご一報くださいますようお願いいたします。

大阪市役所医師会事務局の連絡先は、TEL 06-4792-7070、
メールアドレスは ishikai@oepe.or.jp です。

編集後記

勤務医師会報135号が出来ましたのでお届けします。先生方にはお忙しい中原稿をお寄せいただきありがとうございました。

先日の女性医師の会のウエルカムパーティーでは、フレッシュな研修医の先生方が熱心に先輩達の話に聞き入っている様子が印象的でした。若い先生方が心身ともに健康でキャリアを積み重ねていけるよう、そのためにも欠かせない働きやすい職場環境づくりについても、一人ひとりが今一度考えてみたいと思います。

当会報やホームページでは、その他の学会・イベントのご案内、研究論文、留学・研修記などの原稿、季節の写真等を受け付けておりますので、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

(出雲谷 恭子 記)

平成29年度 大阪市役所医師会学術集会の 特別講演 が決定!!

日時 平成29年 8月26日(土)
午後2時～6時

場所 大阪市立総合医療センター
さくらホール

▶ 特別講演講師

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科准教授
株式会社Mediaccel代表取締役兼CEO
Holoeyes株式会社取締役兼COO

杉本真樹先生

「インセンティブプレゼンテーション」

杉本真樹先生は外科医としての臨床経験を通して3Dプリンターによる臓器モデルや外科手術におけるナビゲーションシステムの開発など最先端技術の研究開発と医工産学官連携に携わっておられる一方で「人を動かすプレゼンテーションの達人」として、講演活動を行っておられます。

ただスライドを読み上げるだけ、ただ写真が貼ってあるだけのプレゼンテーションではなく、自分の言葉が聴衆のアクションの動機(インセンティブ)となるようにコアメッセージを伝えることができるためのコツ、手法を特に我々医療者向けに御教授頂きます。

著書:「医療者・研究者を動かす インセンティブプレゼンテーション」

KADOKAWA/アスキー・メディアワークス 刊

<一般演題>

改めて演題募集がありますが、今年度も発表者には参加賞、優秀な発表には優秀賞が授与される予定ですので、ふるってご応募ください!!